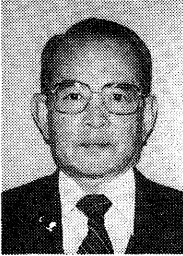


太平洋戦争と中学生



あゝ紅の血は燃ゆる

佐 藤 貞 造

事に従事する人手などあろう
箇がない。
そこで狙(ねら)われたのが
が、会社側の慰霊は完全に外
が、会員学徒であった。ところ
が、会員学徒である。され
てしまった。縄スカンを食
う。それでも連日よく頑張っ
た。

暑の中、毎日何百俵もの土俵
を作り、それを押いで変電所
に運び、それを積み上げるの
が、体力が落ちてきた。疲労の為
にじんできた。

十六才には、余りにもひどい
体が落ちてきた。疲労の為
ばかりではない。食事のせい
だ。伸び盛り育ち盛りの
十六才には、余りにもひどい
体が落ちてきた。疲労の為
ばかりではない。食事のせい
だ。

斯くして一ヶ月位で全作業
を終了した。

「これで終ります。ご苦労
様でした」と言われた時は
嬉しかった。一つの仕事を成
し遂げた満足感で胸が熱くな
った。

工場内の食堂で隣にいた女
の人は、「わたし、こんなも
の食べられないわ」と咳き
ながら、ボロボロ涙を流して
いた。

「質実剛健」をモットーに
してきた酒中の真価が遺憾無
く発揮されたのである。

この事業を成し遂げた意義
は大きかった。

会社側の酒中を見る目が特
別なものとなり後々起る諸問
題も全て要望通りの受入れら
れることになるのである。

前後の美人だった。斯界で
がきて「ラバウル海軍航空隊」
の歌唱指導をしてくれた。

また、昼休みには音楽教師
あり、思いを重ねていたのか
見えでからは、工員達と一緒に
歌を担当した。他の人々もそ
のような状況のところへ
酒中が勤務されて来た。会社
側では拒否されるのを覚悟の
上での、恐る々々承知してもらつた。
あつさの承知してもらつた
ので、大喜びだったようだ。

このよな状況のところへ
到着後、数日間は工場内
に切り上げ、五日間の休暇を
出発準備に費やすと共に最後
の休暇を楽しみ、二十六日動
員先の群馬県小泉町へ出発し
た。

四学年第一学期の授業を早々
に終り、そのままに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

そして、初めて与えられた
仕事はなんと土方(どかた)
仕事であった。

当時六万ボルトの電力を消
費していた工場には多数の変
電所があり、一度(ひとたび)
爆撃を受け変電所が破壊され
たら、工場の機能は麻痺(ひ
じしまう)することになる。それ
ゆえ変電所を防護することが
焦眉(あせり)であったが、土方仕
事であった。

そこで、初めて与えられた
仕事はなんと土方(どかた)
仕事であった。

到着後、数日間は工場内
見学だったが、その広さに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

昭和十九年六月二十日に第
四学年第一学期の授業を早々
に終り、そのままに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

到着後、数日間は工場内
見学だったが、その広さに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

昭和十九年六月二十日に第
四学年第一学期の授業を早々
に終り、そのままに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

到着後、数日間は工場内
見学だったが、その広さに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

昭和十九年六月二十日に第
四学年第一学期の授業を早々
に終り、そのままに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

到着後、数日間は工場内
見学だったが、その広さに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

昭和十九年六月二十日に第
四学年第一学期の授業を早々
に終り、そのままに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

到着後、数日間は工場内
見学だったが、その広さに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

昭和十九年六月二十日に第
四学年第一学期の授業を早々
に終り、そのままに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

到着後、数日間は工場内
見学だったが、その広さに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

昭和十九年六月二十日に第
四学年第一学期の授業を早々
に終り、そのままに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

到着後、数日間は工場内
見学だったが、その広さに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

昭和十九年六月二十日に第
四学年第一学期の授業を早々
に終り、そのままに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

到着後、数日間は工場内
見学だったが、その広さに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

昭和十九年六月二十日に第
四学年第一学期の授業を早々
に終り、そのままに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

到着後、数日間は工場内
見学だったが、その広さに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

昭和十九年六月二十日に第
四学年第一学期の授業を早々
に終り、そのままに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

到着後、数日間は工場内
見学だったが、その広さに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

昭和十九年六月二十日に第
四学年第一学期の授業を早々
に終り、そのままに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

到着後、数日間は工場内
見学だったが、その広さに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

昭和十九年六月二十日に第
四学年第一学期の授業を早々
に終り、そのままに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

到着後、数日間は工場内
見学だったが、その広さに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

昭和十九年六月二十日に第
四学年第一学期の授業を早々
に終り、そのままに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

到着後、数日間は工場内
見学だったが、その広さに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

昭和十九年六月二十日に第
四学年第一学期の授業を早々
に終り、そのままに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

到着後、数日間は工場内
見学だったが、その広さに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

昭和十九年六月二十日に第
四学年第一学期の授業を早々
に終り、そのままに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

到着後、数日間は工場内
見学だったが、その広さに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

昭和十九年六月二十日に第
四学年第一学期の授業を早々
に終り、そのままに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

到着後、数日間は工場内
見学だったが、その広さに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

昭和十九年六月二十日に第
四学年第一学期の授業を早々
に終り、そのままに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

到着後、数日間は工場内
見学だったが、その広さに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

昭和十九年六月二十日に第
四学年第一学期の授業を早々
に終り、そのままに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

到着後、数日間は工場内
見学だったが、その広さに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

昭和十九年六月二十日に第
四学年第一学期の授業を早々
に終り、そのままに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

到着後、数日間は工場内
見学だったが、その広さに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

昭和十九年六月二十日に第
四学年第一学期の授業を早々
に終り、そのままに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

到着後、数日間は工場内
見学だったが、その広さに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

昭和十九年六月二十日に第
四学年第一学期の授業を早々
に終り、そのままに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

到着後、数日間は工場内
見学だったが、その広さに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

昭和十九年六月二十日に第
四学年第一学期の授業を早々
に終り、そのままに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

到着後、数日間は工場内
見学だったが、その広さに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

昭和十九年六月二十日に第
四学年第一学期の授業を早々
に終り、そのままに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

到着後、数日間は工場内
見学だったが、その広さに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

昭和十九年六月二十日に第
四学年第一学期の授業を早々
に終り、そのままに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

到着後、数日間は工場内
見学だったが、その広さに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

昭和十九年六月二十日に第
四学年第一学期の授業を早々
に終り、そのままに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

到着後、数日間は工場内
見学だったが、その広さに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

昭和十九年六月二十日に第
四学年第一学期の授業を早々
に終り、そのままに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

到着後、数日間は工場内
見学だったが、その広さに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

昭和十九年六月二十日に第
四学年第一学期の授業を早々
に終り、そのままに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

到着後、数日間は工場内
見学だったが、その広さに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

昭和十九年六月二十日に第
四学年第一学期の授業を早々
に終り、そのままに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

到着後、数日間は工場内
見学だったが、その広さに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

昭和十九年六月二十日に第
四学年第一学期の授業を早々
に終り、そのままに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

到着後、数日間は工場内
見学だったが、その広さに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

昭和十九年六月二十日に第
四学年第一学期の授業を早々
に終り、そのままに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

到着後、数日間は工場内
見学だったが、その広さに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

昭和十九年六月二十日に第
四学年第一学期の授業を早々
に終り、そのままに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

到着後、数日間は工場内
見学だったが、その広さに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

昭和十九年六月二十日に第
四学年第一学期の授業を早々
に終り、そのままに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

到着後、数日間は工場内
見学だったが、その広さに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

昭和十九年六月二十日に第
四学年第一学期の授業を早々
に終り、そのままに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

到着後、数日間は工場内
見学だったが、その広さに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

昭和十九年六月二十日に第
四学年第一学期の授業を早々
に終り、そのままに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

到着後、数日間は工場内
見学だったが、その広さに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

昭和十九年六月二十日に第
四学年第一学期の授業を早々
に終り、そのままに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

到着後、数日間は工場内
見学だったが、その広さに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

昭和十九年六月二十日に第
四学年第一学期の授業を早々
に終り、そのままに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

到着後、数日間は工場内
見学だったが、その広さに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

昭和十九年六月二十日に第
四学年第一学期の授業を早々
に終り、そのままに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる程であ
った。

到着後、数日間は工場内
見学だったが、その広さに驚
いた。一人では道に迷うので
はないかと思われる

小唄と私

曾根原 重郎(九回卒)



東京會会から寄稿依頼があり困ったと思ったが、止むなく私事近況報告で御許し願いたい。

私が江戸小唄に興味を持つてから早や二十年経つた。

ようやく自分で音じめを樂しめるようになった。

私が三味線にひかれたのは、太平洋戦争で風雲急を告げる昭和十五年の頃のこと、防衛婦人会のタスキを掛けた芸者連が大挙して会社の寮へ派遣社員)を慰問に来た時代であった。その頃、小唄勝太

「莊内昔今」

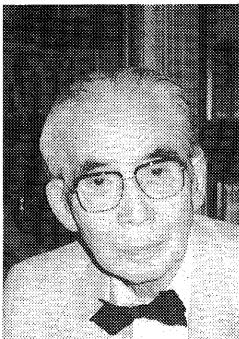
菅原 藤左衛門

私は今日(九月五日)現在で七十八才八ヶ月なる。正に男子平均寿命を越しており、そういう老人(こういうものを文字通り「十年一日」の如く書かせて頂くことは有難い)尉(慰安所内委員)であつたが、これまでの処、慰安所の経営主体者の発言者皆無の故に敢え

それにも拘らず、私をして斯る糸筆を駆りしめるものは二事件の緊急発生によるものである。

その一はサンケイ鹿内信隆(アーリーへのクーデター)事件であり、他は突然変異的韓国従軍慰安婦摘発事件である。(故鹿内氏は陸軍

経理学校時代以降半世紀の親友)の前者に関しては未だ



郎、東海林太郎、恋の市丸らが集会所で観衆を沸したものである。

先日、懐かしのメロディーで市丸師の八六歳の誕生を祝つて唱われた「天流れば」の老鶴の声で、金さん銀さん

で浅虫温泉の一階で江戸情緒の最後の「新内流」の鳥道

の最後の「新内流」の鳥道

